

教職大学院 NEWS

vol.54

2024.4月発行

三重大学大学院教育学研究科
教職実践高度化専攻

教職大学院 8期生を迎えて



専攻長 織田 泰幸

8期生みなさん、ご入学おめでとうございます。皆様のご入学を心から嬉しく思います。教職大学院では、①自分のテーマに即して多くの専門書や学術論文を読み込むこと、②日々仲間たちと切磋琢磨すること、そして③新しい教育の創造に必要な優れた理論や実践を学修することができます。「進みつつある教師のみ 人を教える権利あり」（小原國芳）。教職大学院において、みなさんは生涯学習者として、そして「学び続ける教師」としての基礎をつくってほしいと思います。ともに頑張りましょう！

8期生紹介

大澤 健人 鳥羽市立鳥羽東中学校	これまでの自分の実践をじっくりと省察し、「どんな教員でありたいか」を見つめる機会があれば…と考えていたところ、11年ぶりに三重大学に戻り、学ぶチャンスをいただきました。さまざまな年齢、校種、立場である多様な仲間との新しい出会いを大切し、ともに学びあい高めあう2年間にしたいと思います。
佐藤 雅貴 桑名市立大成小学校	「豊かな学び」を創造するために大切にしてきたことを、様々な視点から問い直し、再構築したいと思い入学しました。経験豊かな現職教員のみなさん、熱い思いをもった学部卒学生のみなさんとともに、切磋琢磨しながら楽しく学びを深めたいと思います。2年後、支えてくださった方々、子どもたちに還せるようがんばります。
小瀬古 圭慶 高等学校(公民科)志望	これまでは他の大学で民俗学や宗教学を学んでいました。もともと三重県の教員を志望していたため、こうして地元に戻り、教育について学べることをありがたく思います。教職大学院では、総合的な探究の時間や進路指導を中心に学びを深めたいと考えています。2年間よろしくお願いします。
野村 美森 小学校志望	学部生のときの教育実習では、授業を成り立たせることに精一杯になってしまい、子どもたち1人1人がどんなことを感じているのかを深く見たり、授業以外の時間を大切にしたりすることができませんでした。このように、大学の4年間でやり残したところを学びたいと考え、大学院を志望しました。2年間頑張ります。
萬賀 太一 高等学校(数学科)志望	教職大学院に入学したいと思った理由はICTを使った授業、学級作りや今も、そしてこれからも注目されているAIをどのように教育現場で使用していくのかというのを研究したく教職大学院に進学を希望しました。また、学級作りに一抹の不安を覚えたので、そちらについてもしっかりと勉強したいと思い進学しました。
石原 潤弥 中学校(数学科)志望	自分自身の研究に加えて、授業や子どもとの関わりについて様々な視点から見たり聞いたりして学ぶことで、現場に出た際に多彩な指導をすることができるようにしたいと考え、教職大学院への入学を決めました。校種・教科にかかわらず同期の皆さんとたくさん議論し、有意義な2年間にしたいと思います。
勝村 奏太 中学校(数学科)志望	教職大学院での抱負として、自分なりの授業の基盤を形成できればいいなと思います。教職大学院には新卒の学生もいれば現職の学生もいるので、いろいろな話を聞き、自分なりの軸を作っていきたいです。また、この2年間で「オープンエンドアプローチ」についても学んでいきたいです。2年間頑張ります！
加藤 凜 中学校(英語科)志望	私が教職大学院を希望した理由は、大学生の頃に行った実習先で色んな経験をし、自分の指導力に低さを実感したからです。なので、大学院では自分の専門性を高めるとともに、指導力についても、実習や現職の先生方や同期の皆さんとの学びの中で高めていきたいです。
川西 律熙 高等学校(国語科)志望	学部での教育実習において授業力などの実力不足を感じ教職大学院への進学を決めました。教職大学院では、現職教員の方の経験や他教科の方々との意見交流を重ね学びを深め、将来教師として生徒たちが主体的に学ぶことができる授業を実践していきたいです。
佐々木 亮輔 県立南伊勢高等学校	今年度から三重大学教職大学院にて貴重な研究・研鑽の機会をいただけたことに非常に感謝しております。この貴重な2年間で、大学の先生方をはじめ、共に学ぶ仲間と協力しながら、数学の専門力・指導力を向上できる取組みを行いたい。そして、微力ではありますが三重県の教育の発展に貢献したいと思います。

笹田 誠人 高等学校(理科)志望	私は模擬授業や教育実習を通して「楽しく学びのある理科授業とは何か」について考えるようになりました。そこで日常生活とつながった理科の授業を行うことでもっと理科が楽しくなるのではないかと思います、これらのことをもっと学びたいと思いました。この2年間の教職大学院生活を有意義かつ楽しく学びのある2年間にします。
柴原 大樹 津市立橋北中学校	12年に渡って数学の授業を行うなかで、生徒のつまづくポイントが共通していることに気付き、それは生徒の学力差に由来するのではなく、指導する側に原因があるのでは無いかと考えました。教職大学院では、正しい理論と確かな実践を結びつけて現場に取り入れることを目標としています。
末澤 孝浩 四日市市立中央小学校	「授業力を高めたい」という思いから、教職大学院に進学しました。子どもに対するアプローチや授業づくりの理論、教科の専門性について、今までの自分を見つめなおしながら見識を広めていきたいと思っています。また、同じ志を持つ仲間との交流を通じて、教育のプロフェッショナルとして成長していきたいと考えています。
鈴木 佑翼 小学校志望	学修するにあたり、卒業研究で明らかにした動詞的な評価指標が実践の現場の中で、そして他教科ではどのように視点をを変えることができるのかということにこだわり、実践や授業に向かっていき、課題と向き合える2年間にしたいです。学びは1人ではできないので、現職・ストレート学生ともに視点を共有し、新しい価値を見つけていきたいです。
鈴木 雄大 高等学校(数学科)志望	教職大学院では高校数学でのアクティブラーニング型の授業を研究しようと考えています。また、学部生の時に高校の教育についてあまり学ぶことが出来なかったので、指導方法や生徒との関わり方など、実際に学校に行き行って学んでいきたいです。
濱口 祐衣 高等学校(理科)志望	私は、大学では、理学部に所属しており、理学の専門的な知識や理論などを学んでいましたが、教師を目指すにあたって、教育についての知識や実践などに不安を持っており、本学の教職大学院に入学しました。教職大学院では、大学の先生方や他の生徒の方たちとの対話、実習を通して、成長していきたいです。
甫本 創太 松阪市立花岡小学校	教職経験が10年を経過しました。この10年、多くのことを学ぶ機会がありましたが、同時にうまくいかないこともたくさんありました。教育現場で直面した課題の一つ一つと向き合い、先生方や院生のみなさんとともに学び、成長できる二年間になればと思います。
森本 直矢 中学校(数学科)志望	教職大学院では自分自身の授業スタイルの形を作ることと、現職教員学生の方とのコミュニケーションを頑張っていきたいです。どうすれば、生徒に楽しんでもらえるような授業づくりができるか、自身の視点に加え、他者の視点も参考にすることでレベルアップしていきたいです。また、「いじめ問題」など、学校では必ず存在するデリケートな問題についても、授業を通してじっくりと考えていきたいです。
山本 健太 鈴鹿市立白子中学校	私の在籍する学校は、県内最大の生徒数を誇る中学校です。毎年500名ほどのパワー溢れる生徒の授業を担当し、音楽の授業を通して繋がりを深める中で「もっと音楽の魅力や、楽曲との新しい出会いを味わってもらいたい」と思うようになりました。教職大学院ではより専門的な知識を身につけ、仲間と共に学ぶ経験を通して、自分の指導について見つめていきたいです。
吉井 佑太郎 県立いなべ総合学園高等学校	15年で3校の学校に赴任し、様々な実践を行ってきました。それらが少しずつつながり始める中で、自身の実践の背景の脆さや弱さに気づかされました。そんな時の教職大学院で学ぶ機会をいただきました。感謝の気持ちでいっぱいになるとともに、とてもわくわくしています。2年間大いに学び、実践していきます。
吉見 朱日佳 小学校志望	私のこれからの大学院生活での目標は、大学4年間の中でできなかった経験や知識をたくさん身に付けることです。そして、私は、学力差について学びを深めていきたいと考えています。自分一人で学びを深めるだけでなく、様々な知識や経験を持ったたくさんの仲間と交流しながら学びを深めていきたいです。
谷口 真生 小学校志望	学部生の卒業研究で取り組んだ通級指導についてさらに深く学びたいと思い、教職大学院に入学しました。現職教員の先生方や様々な専門性を持つ同年代の方々と学び合えることに感謝しつつ有意義な二年間を過ごし、地域の小学校での特別支援教育に携わり、貢献できる教員を目指します。

第1回 入試説明会 参加者募集中！

三重大学教職大学院で
学びませんか？

2024年 5月 26日 (日) 13:00-15:00 (Zoomによるオンライン開催)

▼ 申込フォーム

・5/21(火)までに、申込フォーム(Google Forms) へのご記入をお願いします。

<https://forms.gle/LFFxSn45t9N18UQHA>

※お申込いただいた方には、5/23(木)に、Zoomの招待メールをお送りします。

